

平成3年度から土地区画整理事業を進めている「加島地区」は、大阪市の北西部に位置し、都心から約10キロメートルの圏内にあり、北は都市計画道路加島天下茶屋線、東はJFR山陽新幹線側道、南はJR東海道本線及び片福連結線、西は水路敷によって囲まれた面積約10ヘクタールの地区です。地区周辺は、北から西にかけて神崎川が流れ、東には阪神高速道路池田線が通るなど、豊中市、兵庫県尼崎市に接し、今後の発展が望まれています。

しかし現状では、住宅と工場が混在し、未利用地も多く、道路・公園等の都市基盤施設が不足しているため、計画的な都市整備が必要とされてきました。また、公共交通を、地区の北側を通る路線バスのみに頼っており、鉄道輸送機関の整備が望まれてきたところです。そのようななか、片福連結線の計画が発表され、平成9年春には、新しい駅が設置されることになりました。

そこで大阪市では、新しい駅周辺の活性化を図るために、地域住民の皆様と共に土地区画整理事業による住みよいまちづくりを進めることとしました。駅利用者が安全にアクセスできるよう駅周辺の公共施設を整備し、計画的な宅地利用を誘導し、駅前にもさわしい魅力と活気あふれる快適なまちづくりをめざします。

片福連結線開通に向けて、  
新しい駅前・駅周辺にふさわしいまちづくりをめざします。